【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【公表番号】特表2018-533410(P2018-533410A)
【公表日】平成30年11月15日(2018.11.15)
【年通号数】公開・登録公報2018-044
【出願番号】特願2018-521602(P2018-521602)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｂ　5/055　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/055　３８０
Ａ６１Ｂ　5/055　３７０

【手続補正書】
【提出日】令和1年10月30日(2019.10.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザインターフェースと分析モジュールとを含む磁気共鳴検査システムであって、
- 前記ユーザインターフェースは、選択されるMRI検査プロトコルにおける連続ステップの詳細を表す検査情報を前記分析モジュールに提供するように構成され、
- 前記分析モジュールは、前記検査情報を分析して、前記ユーザインターフェースに対して前記MR検査を適切に行うためのフィードバック及び随意にガイダンスを導出するように構成され、前記分析モジュールは、前記検査情報を表す前記選択される検査プロトコルから必要な動作を抽出し、検査されるべき患者を準備するためにとられるべきこれらの必要な動作を実行する必要性をユーザにフィードバックするように構成される、磁気共鳴検査システム。
【請求項２】
ユーザインターフェイスと分析モジュールとを含む磁気共鳴検査システムであって、
- 前記ユーザインターフェースは、選択されるMRI検査プロトコルにおける連続ステップの詳細を表す検査情報を前記分析モジュールに提供するように構成され、
- 前記分析モジュールは、前記検査情報を分析して、前記ユーザインターフェースに対して前記MR検査を適切に行うためのフィードバック及び随意にガイダンスを導出するように構成され、前記分析モジュールは、前記検査情報を表す前記選択される検査プロトコルから必要な動作を抽出し、これらの必要な動作に対する必要性をフィードバックするように構成され、前記分析モジュールは、何れのデバイスが接続される必要があるかを前記検査情報から導出し、何れのデバイスが接続される必要があるかをフィードバックし、随意に（ｉ）前記デバイスの接続ステータス、及び（ｉｉ）そのようなデバイスを接続する方法についてフィードバックするように構成される、磁気共鳴検査システム。
【請求項３】
前記詳細は、前記連続ステップの実行の適切な順序を含む、請求項1に記載の磁気共鳴検査システム
【請求項４】
前記詳細は、前記MRI検査プロトコルの前記ステップを実行するために満たされる必要がある前記各ステップの技術的条件を含む、請求項1乃至３の何れか一項に記載の磁気共

鳴検査システム。
【請求項５】
前記フィードバックは、一つ又は複数の局所高周波受信器コイル及び/又は補助装置を前記磁気共鳴検査システムに接続するための命令に関する、請求項1又は3に記載の磁気共鳴検査システム。
【請求項６】
検査ゾーン内に静磁場を印加するための主磁石を有し、前記ユーザインターフェースは、前記磁石から離れた制御コンソールと、前記主磁石におけるガントリディスプレイとを含む、請求項1に記載の磁気共鳴検査システム。
【請求項７】
コンピュータプログラムであって、
-ユーザインターフェースにより、MRI検査プロトコルにおける連続ステップの詳細を表す検査情報を分析モジュールに提供させ、
-前記分析モジュールにより前記検査情報を分析させ、
-前記ユーザインターフェースに対して前記MR検査を適切に行うためのフィードバック及び随意にガイダンスを導出させる
命令を含み、
-（i）前記検査情報を表す前記選択される検査プロトコルから必要な動作を抽出させ、（ii）これらの必要な動作を実行する必要性を前記ユーザにフィードバックさせ、又は
-（iii）何れのデバイスが接続される必要があるかを前記検査情報から導出させ、何れのデバイスが接続される必要があるかをフィードバックさせ、随意に（iv）前記デバイスの接続ステータス、及び（v）そのようなデバイスを接続する方法についてフィードバックさせる
命令を更に含む、コンピュータプログラム。
【請求項８】
磁気共鳴検査システムを作動する方法であって、
-ユーザインターフェースにより、MRI検査プロトコルにおける連続ステップの詳細を表す検査情報を分析モジュールに提供するステップと、
-前記分析モジュールにより、前記検査情報を分析するステップと、
-前記ユーザインターフェースに対して前記MR検査を適切に行うためのフィードバック及び随意にガイダンスを導出するステップであって、（i）前記検査情報を表す前記選択される検査プロトコルから必要な動作を抽出し、（ii）これらの必要な動作を実行する必要性をユーザにフィードバックし、又は（iii）何れのデバイスが接続される必要があるかを前記検査情報から導出し、何れのデバイスが接続される必要があるかをフィードバックし、随意に（iv）前記デバイスの接続ステータス、及び（v）そのようなデバイスを接続する方法についてフィードバックする、ステップと
を有する、方法。